

平成 28 年 新年賀詞交歓会開催報告



平成 28 年 1 月 19 日（火）12 時 30 分から、霞が関ビル 35 階東海大学校友会館「阿蘇の間」において、国会議員、国土交通省、友好団体等から多数の来賓の方々をお迎えして、新年賀詞交歓会を開催いたしました。

冒頭、熊倉隆治会長から挨拶が行われ、引き続き、山本順三氏（国土交通副大臣）からご祝辞をいただいた後、三橋博巳氏（資産評価政策学会会長）の音頭により乾杯が行われました。

また、乾杯の後、ご出席の国会議員からご挨拶をいただき、なごやかな歓談のうち、盛会裡に賀詞交歓会を終えることができました。

熊倉会長は、挨拶の中で「①地価公示は不動産市場のインフラとして国民経済に欠かせない制度とご理解いただき、来年度予算編成において、地価公示地点の2万6千地点を決定していただいた。不動産鑑定士制度推進議員連盟の皆様のご支援、関係省庁の皆様のご理解に厚く御礼申し上げます。②アベノミクスの第2ステージは地方への経済効果の波及、我々は、地価公示をはじめとする各調査で地域を見守っている。地域のさまざまな変化を捉え、政策提言へ結びつけることで、国民



挨拶を述べる熊倉会長



来賓祝辞を述べる山本国土交通副大臣

経済への貢献を図っていききたい、③今後の取り組みとして、優れた住宅ストック社会の構築のため中古流通にも関係専門家と連携し一層の活性化を実現することが必要である。また、人口構造の変化に伴う土地利用の変化を進めるための農地への取り組みや、経済の高度化に伴う動産評価へ進んで取り組んでいくためにも、研修制度の拡充と内部統制の整備による専門性の深化が必要となる。そしてこれらの活動を積極的に社会に発信し、若い方達に不動産鑑定士の専門家としての認知度を高め、仕事の面白さを伝え、若い力の参入を促進したいと考えている。これらを実現していくため、本会は、50周年を契機にブラッシュアップした我々の不動産鑑定業将来ビジョン行動計画 2015（業務の多様性、専門性の深化、社会への発信の3つの柱で構成）を踏まえ、これらの施策に向けて、会員一同一丸となって取り組み、着実な前進を果たしたい」と述べました。



乾杯の音頭を取る三橋資産評価政策学会会長



中締めを行う稲野邊副会長



ご来場いただいた国会議員の方々（順不同）



盛山正仁 法務副大臣・内閣府副大臣



宮内 秀樹 国土交通大臣政務官



大岡 敏孝 財務大臣政務官



津島 淳 国土交通大臣政務官



鬼木 誠 環境大臣政務官



田所 嘉徳 法務大臣政務官



片山さつき 参議院議員



前田武志 参議院議員



渡辺 猛之 参議院議員



林 久美子 参議院議員



山本 幸三 衆議院議員



若狭 勝 衆議院議員



山下 貴司 衆議院議員



室井邦彦 参議院議員

※ このほか、土屋正忠氏（総務副大臣）、原田憲治氏（衆議院議員）、三宅伸吾氏（参議院議員）、葉梨康弘氏（衆議院議員）、西村昭宏氏（衆議院議員）、左藤 章氏（衆議院議員）、うへの賢一郎氏（衆議院議員）、井上 貴博氏（衆議院議員）、大塚高司氏（衆議院議員）にご来場いただきました。